

9月12日（日）10:00～11:30 赤羽文化センター第3学習室で、9月例会を開催しました。今回も五十嵐郁子講師によるオンライン手話学習会で、15名の方にご参加いただきました。

今回の例文 ～復習してみましょう～



「パラ競技の『ボッチャ』を見ましたか。ルールは簡単ですが、技術は難しそうです。ウェルチェア（車いす）ラグビーもゴールボールも私は初めて見ましたが、どれも面白いと思いました。」

### 表現のポイント

- ・ニュアンスを伝えよう ➡ 見る ①人差指1本…たまたま見たというイメージ  
②人差指2本…「きちんと見る」「意識して見る」時に使う。  
③指文字の「メ」…「眺める」のイメージ  
状況に応じて使い分けることができるといいですね。
- ・語彙を増やそう ➡ ラグビーの手話はラグビーボールを右方から左方へ投げるしぐさをする。→ラグビー強豪国ニュージーランドの儀式「ハカ」のポーズで表わすこともあります。



### 参加者の声：Aさん

今月も手話講習会の場をつくっていただきましてありがとうございました。毎月の素敵なチラシにも励まされています。

「時の経過を表す手話は右側から左側へ」を普段の練習で意識していると思います。つい横書きの文章を見たままに左から右に表現してしまいます。

### ★パラリンピックマーク★ 豆知識



パラリンピックのシンボルマークは「スリーアギトス」と呼ばれていますが、「アギト」とはラテン語で「私は動く」という意味で、困難なことがあってもあきらめずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています。

赤・青・緑の三色は、世界の国旗で最も多く使用されている色。赤は心（スピリット）・青は肉体（ボディ）・緑は魂（マインド）を表しています。



### コミ男とモア子のしゅわ談義



コミ男：今回の手話講習会は、要約筆記の字幕の下に学習資料もついていたね。講師の丁寧な説明と相まってとてもよく理解できたよ。

モア子：本当に画期的でしたね。視線を向ける方向が一つなので、目が疲れませんでした。

コミ男：ただ、オンライン環境のある会員さんしか参加できていないのが残念だね。

モア子：はい。会費を払ってくださった会員さんのためにも、早く対面で開催できるといいですね。